

月例報告

学部	GIS
学科	GIS
国名	アメリカ
留学先	ネバダ大学リノ校
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:> Financial Accounting, ESL Oral presentation, Entrepreneurship, Organization Behavior, Operation Management を履修しました。全てまだイントロダクションの段階で、どのように進行していくかわかりませんが、理解できないことはそのままにせず、しっかり質問をしていこうと思います。提出物や出席が全てオンラインで行われるなど、授業のみならず、システムにおいても新しいものが多く混乱している状況ですが、落ち着いて少しずつ慣れていけたらいいと思います。 Entrepreneurshipの授業は400レベルで周りの生徒のレベルも高く、MBA取得済みの生徒もいることから、今もなお履修に悩んでいる状況です。</p> <p><語学について> 今まで英語圏へ行ったことがなかったので、普段のカジュアルな英語でのコミュニケーションでは話し言葉がわからず、少し返答に時間がかかってしまったり、言われたことを理解できないこともあります。自分のアクセントを恥じず、どんどん会話を積極的にしていきたいと思っています。GISの授業のおかげもあり、専門授業で出てくる専門用語などは理解できるものが多くあったので少し安心しました。フォーマルな英語のみならず、話し言葉の英語も身につけていけたらいいと思います。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>到着から4日後に寮に移動をしましたが、他のルームメイトは1年生のアメリカ人で目的や価値観が違うため、寮の変更を希望しました。22時頃に複数人で部屋の中に入って話始めるなど、男子生徒の出入りが頻繁にありました。年の違いもある事から、お互いの生活の違いが目立つようになり、寮のスタッフに相談をしました。スタッフの方は留学生だという立場を理解し、親身になって聞いてくれたため、初めは混乱がとても大きかったのですが、落ち着いて対処する事が出来ました。アメリカの文化を学ぼうと現地の1年生と同じ寮を希望しましたが、カルチャーショックは想像以上に大きく、何を決断するにも慎重に考える事が必要だと学びました。初めは自分の英語力に自信が無く、彼女らの早い英語についていく事ができず、何かわからないことがあってもそのまま流してしまいましたが、その結果お互いに誤解が生まれてしまいました。本当の自分の希望を彼らに伝えた方が良くスタッフの方々から言われ、拙い英語で伝わるのか自信が無く、またこわい気持ちもありましたが、勇気を出して伝えた結果、理解してくれました。それからは、友人を連れてくるときは必ず私に確認をとってくれますが、やはり異文化の理解は想像以上に難しく、部屋にいてもおしゃべりが止まらず、自分の心休める場所がなかったので、寮の変更を希望することになりました。異文化理解は学校の授業でも勉強しているので、難しい事は知っていましたが、この体験を肌で感じ良い意味でも悪い意味でも学ぶ事が多い1週間であったと感じます。日本と最も異なっているなと感じた事は男女間の関係です。寮の階は男女混合で、隣の部屋には毎日男子生徒が寝泊まりしている状態です。また、男子生徒が女子生徒の部屋に入るのも一般的らしく、アメリカ文化に慣れていない私にとってはとても不愉快な環境でした。また、プライベートの空間をあまり日本人よりも気にしないなと感じました。毎日夜遅くまでルームメイトの友人が部屋に来ている状態がありました。海外の文化を理解することができても、受け入れることは本当に難しいのだと学びました。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>このたった1週間の体験で内面的に大きく成長できたと思います。相手の気持ちを伺って空気を読むのが日本の文化ですが、アメリカでは、はっきりと思っていることを言わないと相手は理解してくれません。最初はわからない英語を聞くことや、本当に自分が思っていることを伝えるのを躊躇っていましたが、この経験は私の大きな自信につながりました。自分の思っていることや意見が違ったとしても、それを伝えることは相手にとっても私にとっても大切で、多くの場合、肯定してくれなくても理解してくれるのだと感じました。また、この留学が私にとって、英語圏に行くのも、海外に長期滞在するのも、家族と離れるのも初めての体験であったので、生活力また自立力がついたと思います。食料を得るのも、洗濯をするのも、実家にいるときには甘えていたもの全て自分でやらなければならないので、初めは戸惑うこともありましたが、次第に慣れたような気がします。また、寮の変更なども、何が私にとって最善の選択なのかを考えて、今何が私に必要なのかを考える機会が多かったので、全て自分で考え行動するための力がついたと思います。この先も、様々な文化の違いや考えの違いから対立することや、私の将来にとって何が大切かわからなくなる事も沢山出てくるとは思いますが、無理はしない程度に、自分の成長のために頑張っていこうと思いました。</p>